

# 全国商工新聞

## 長岡版

一発行編集一

長岡民主商工会

長岡市中沢167-1

☎ 33-5948

2020年 6月 8日

第2007号

新型コロナウイルス対策  
資金繰り・納税緩和など  
民商に相談を

# 中小・個人事業者への支援の拡充を求めて 長岡民商が市に要望書を提出、懇談

長岡民商は5月29日、新型コロナウイルス経済対策に関する中小・個人事業者への支援の拡充を求め、長岡市へ14項目に及び要望書を提出、懇談(他団体との共同を含めると4回目)を行いました。この懇談は、日本共産党長岡市議団、同中越地区委のご尽力により実現しました。長岡市は長谷川商工部長、里村産業支援課長、山田工業振興課長が対応。長岡民商から樫澤政晴会長(置製造)、酒井光男副会長(スクラップ)、監物忍会計(設備配管)、星野・金内の両事務局が参加、諸橋虎雄市議、笠井則雄市議、遠藤玲子県議、服部耕一日本共産党中越地区委副委員長が同席しました。

冒頭、樫澤会長は「市民は大変な思いをしながらこの状況を耐えている。本日は市民の現状や意見を伝え、コロナ対策に役立ててもらえるよう有意義な時間になりたい」と挨拶。長谷川商工部長は「お忙しい中、商工業者の声を届けていただき、感謝する。本日は皆様

の声を聴き、可能な限り市議会を通じて補正予算に反映したい」と述べました。  
酒井副会長、監物会計は中小業者の窮状を伝えるとともに、支援の拡充を訴えました。「税金を払いたくても払えない人こそ、今、資金を必要としている。市税の滞納がある場合でも、市の制度融資を受けられるようにしてほしい」との要望に対し、市は「納付猶予の手続きをして頂ければ、融資の検討を行う」と回答。持続化給付金の劇的な要件緩和や「1度きり」でなく収束するまでの給付を求めること等、国や県への働きかけを求める要望については、その大半を「国や県に要望を伝える」との回答を得ました。



多くの相談が寄せられています  
持続化給付金「不備」通知

持続化給付金の申請が始まって1ヶ月。長岡民商には「先日持続化給付金の申請を行ったが、『不備』であるとの通知が来た。何が間違っているのかわからないので、見てほしい」との相談が多く寄せられています。

「不備」通知における修正指示(「不備」があることを説明し、修正を指示する文)は、抽象的でわかりにくい文となっています。全商連は、「この機械的な修正指示の是正を中小企業庁に要請し、5月22日から機械的な返答をしないようにしている。修正を求める場合には、丁寧に、何が不足しているか、どのように修正すれば良いか分かるようにして返信している」との回答を得ましたが、大きな変化は感じられません。よって、対策が必要です。

例えば、添付が必須である対象月の売上台帳は、書式こそ自由ですが、資料内に「売上」などの記述・記載がなく、客先や金額だけが記されている場合、それが売上台帳であることが不明確であり、「不備」と見なされることがあります。売上を記した資料であることが明確にわかるよう、「売上」とはっきり記述するなどの工夫をしましょう。

民商に「不備」を相談し、修正した会員からは「修正後、3日で給付金が振り込まれていた」との喜びの報告も寄せられています。「不備」通知は民商にご相談を。

## 長岡市事業者用支援対策チラシ「支援パック」をお届けします！

長岡民商会員、商工新聞読者の皆様へ、新型コロナウイルス感染症に関する長岡市事業者用支援チラシをまとめた「支援パック」を商工新聞今週号(7/1)にお届けします。長岡市との懇談後、里村産業支援課長からの「支援パック」を、長岡民商から会員・読者の皆様へ配布することは可能か」との打診に「対応したい」との返答が得られました。支援パックの内容のチラシを読み、制度を活用しましょう。「相談は長岡民商まで」。